



970E 31960

Print Server N01

Version 6.0

ユーザーズガイド セットアップ編

AppleTalk、Bonjour、Macintosh、macOS、およびOS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Adobe、Adobe PDF、PostScript、およびPostScript 3は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。Microsoft、およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。インテルCoreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。McAfee、VirusScanは、米国法人McAfee LLCまたは米国またはその他の国の関係会社における商標登録または商標です。Symantec (シマンテック) は、米国およびその他の国におけるSymantec Corporationまたはその関連会社の登録商標です。

平成明朝体 W3、および平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

本書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、Print Server N01 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

Print Serverは、PostScript®を使用して、高品質のカラープリントを実現するためのプリントサーバーです。

本書には、はじめてご使用になるかたを対象に、Print Serverの使用上の注意事項とセットアップ方法を記載しています。

Print Serverの性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、Print Serverをご使用になる前に本書を必ずお読みのうえ、正しくご利用ください。

Print Serverの基本的な操作については、『ユーザーズガイド 導入編』と『ユーザーズガイド 運用編』をお読みください。なお、弊社の保証範囲は、本製品の標準構成とそのオプション商品に限ります。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。Print Serverをご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご利用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

Contents

はじめに	3
Contents.....	3
マニュアル体系	4
本書の表記	5
安全にご利用いただくために	6
規制について.....	12
法律上の注意事項.....	13
各部の名称	14
Print Serverの起動と停止	17
リモートデスクトップ接続.....	19
プリント操作.....	21
バージョンアップと再インストール	22
主な仕様	23

マニュアル体系

Print Serverには、以下のマニュアルが用意されています。使用目的に合わせてご利用ください。

■紙マニュアル

● ユーザーズガイドセットアップ編<本書>

Print Serverを安全にご利用いただくために、Print Serverを使用する前に知っておいていただきたいことと、Print Serverのセットアップ方法について説明しています。

● Print Serverに関する補足情報

Print Serverの追加補足情報について説明しています。

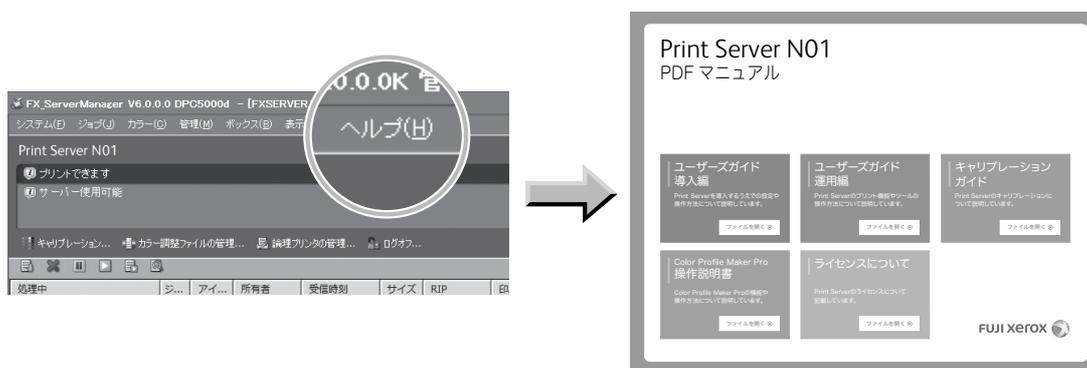


参照

プリントに関する制限については、補足情報とあわせて、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.2 プリントに関する事項」を参照してください。

■PDFマニュアル

ServerManagerの[ヘルプ]メニューから表示できます。



補足

『Color Profile Maker Pro操作説明書』を除き、アプリケーションUSBメモリーの「Document」フォルダーにも格納されています。
(『Color Profile Maker Pro操作説明書』は、「ClientWindows」→「CPMP」フォルダー)



参照

クライアントコンピュータのServerManagerで表示する方法は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.1.7 ヘルプメニュー」を参照してください。

● ユーザーズガイド導入編

Print Serverを導入するうえでの設定や操作方法について説明しています。

● ユーザーズガイド運用編

Print Serverのプリント機能、色の調整の仕方、プロファイルの割り当てやツールの操作方法について説明しています。

● キャリブレーションガイド

Print Serverのキャリブレーションについて説明しています。

● Color Profile Maker Pro 操作説明書

Color Profile Maker Proの機能や操作方法について説明しています。

● ライセンスについて

Print Serverのライセンスについて記載しています。

本書の表記

本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

 **注記** 注意すべき事項を記載しています。必ずお読みください。

 **補足** 補足事項を記載しています。

 **参照** 参照先を記載しています。

本文中では、以下の記号を使用しています。

- 「 」 フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD/DVD/USB、機能などの名称や入力文字などです。また、本書内にある参照先です。
- 『 』 参照するマニュアルです。
- [] コンピューター上のメニュー、コマンド、画面（ウィンドウやダイアログボックス）とそれらに表示されるタブ、ボタン、メニュー、項目などの名称です。
- メニュー、フォルダーの選択順序です。[{メニュー名}] → [{メニュー名}]
 （フォルダーの場合は、「 {フォルダー名} 」 → 「 {フォルダー名} 」）のように記載しています。
- { } ユーザーやサーバーの名称など、任意の文字を表します。
 ユーザー名を表すときは、{ユーザー名} のように記載しています。
- < > キーボードのキーです。

本文中では、以下の文章表現を使用しています。

- ・「*」は任意の数字です。
- ・OSがMac OS Classic (9. *) のクライアントコンピューターを「Mac OS Classicクライアント」、OS X、および macOS のクライアントコンピューターを「macOS クライアント」と記載しています。「Mac OS Classicクライアント」と「macOSクライアント」を合わせて、「Macintoshクライアント」と記載しています。
- ・OSがMicrosoft® Windows®のクライアントコンピューターを「Windowsクライアント」と記載していません。

本書に記載されている画面やPrint Serverのイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

本書の内容は、本書の制作時点のもので、本書に記載されている画面やイラスト、お問い合わせ先の窓口、Webサイトのアドレスなどは、将来予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



静電気
破損注意



注 意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意

⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁 止



火気禁止



接触禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指 示



電源プラグ
を抜け



アース線を
接続せよ

電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず以下のどれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

以下のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、本機にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご相談ください。



本機の定格電圧値、および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値、および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによってプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



1か月に一度は本機の電源を切り、以下のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- ・電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか。
- ・電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか。
- ・電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告



本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



以下のような場所には、本機を設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・調理台や加湿器のそばなど



本機の包装に使用している袋やシートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

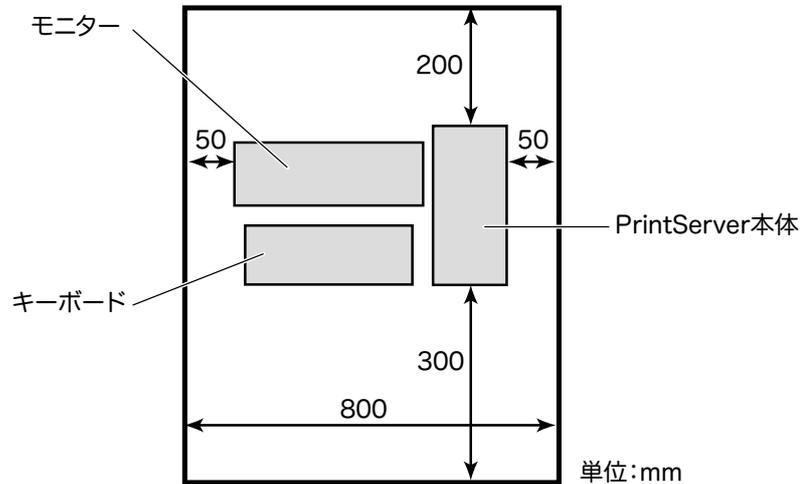


本機は、付属製品を含めた総質量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

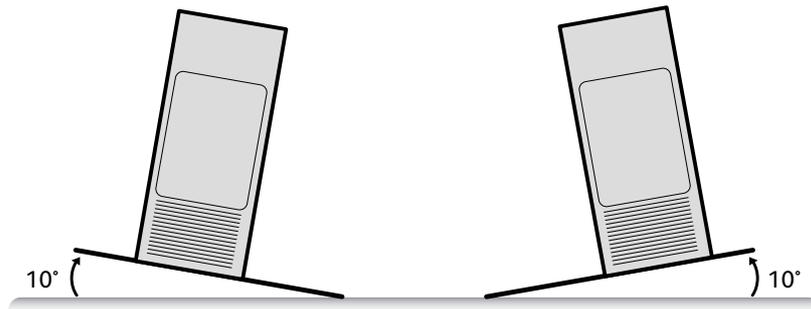


本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



本機を10°以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

機械使用上の注意

⚠ 警告



マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



以下のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・本機の内部に水が入ったとき
- ・本機が水をかぶったとき
- ・本機の部品に損傷があったとき



本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、本機の上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



レーザーについて

注意：マニュアルに書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被ばくの原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

本機は、レーザーの国際規格IEC60825-1:『2007』（Class 1レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被ばくの危険がないことを意味しています。レーザーは本機内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被ばくすることはありません。



装置を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

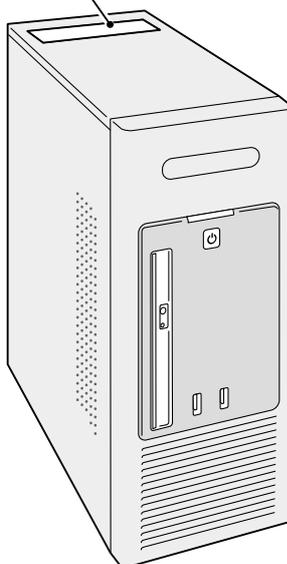
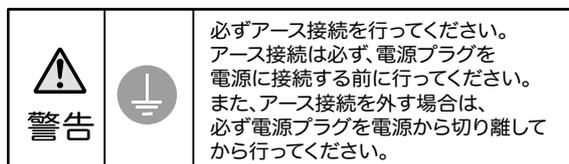


本サービスを航空機や列車等の交通制御、原子力発電所制御、人命に関わる医療機器制御などの極めて高い信頼性を要求される用途には使用しないでください。

⚠ 注意

- ❗ 本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」、「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

- 警告および注意ラベルの貼り付け位置



- ⊘ 電源オフは、本書の「Print Server の起動と停止」(P.17)の方法に従い、むやみに電源コードや電源アダプターを抜いて停止させないでください。ハードディスクの故障やデータの消失の原因になります。
- ⊘ 本機に内蔵しているハードディスクを抜いたり、ほかのハードディスクと交換したりしないでください。サービスの停止、ハードディスクの故障、データの消失の原因となるおそれがあります。
- ⊘ 本機の上にものを載せないでください。本機に内蔵しているハードディスクの動作異常や、本機の変形の原因になります。

規制について

電磁波障害対策自主規制について



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。

電源を切ったあと、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

法律上の注意事項

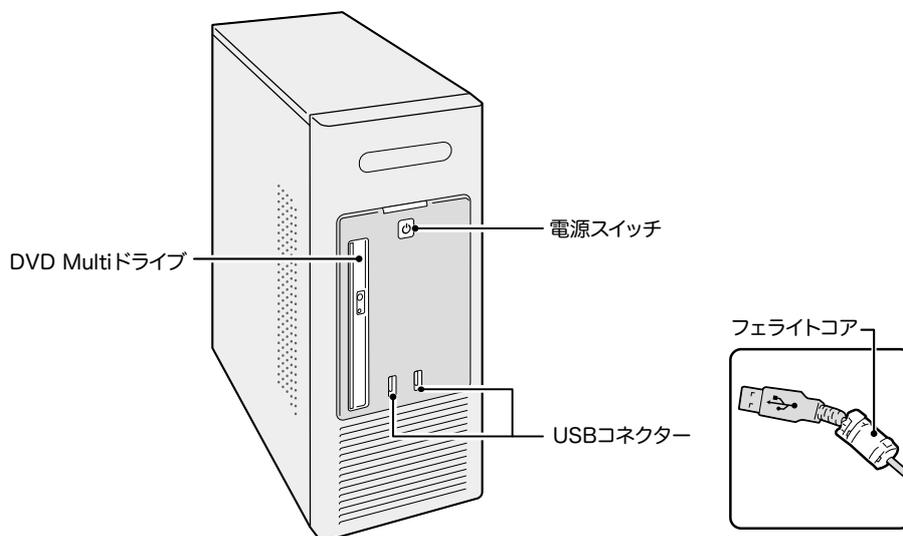
1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ・株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - ・契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ・推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ・役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ・私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合*を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、Webサイトへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

*法律に定める例外にあたる場合の例

- ・個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- ・国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ・学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

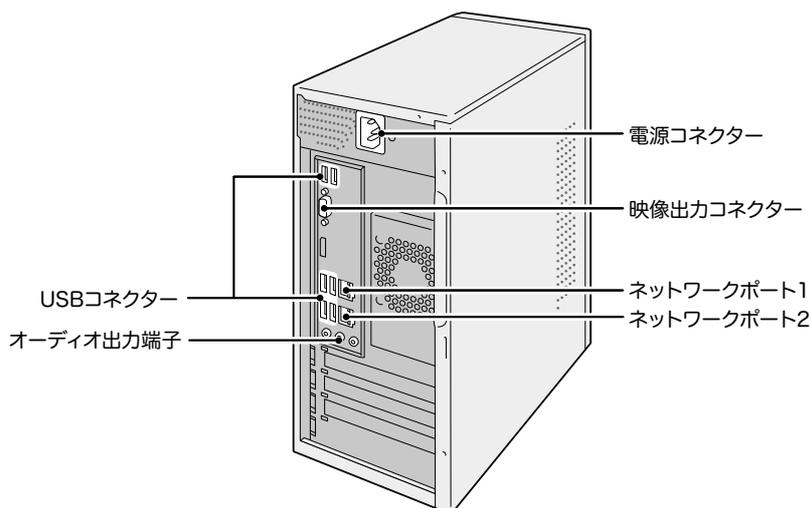
各部の名称

■ Print Server本体（正面）



名称	働き
電源スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ Print Serverの電源を入れたり切ったりします。 ・ 5秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。
USBコネクター	USB規格のコネクターを接続します。 補足 正面のUSBコネクターにケーブル機器を接続するときは、同梱のフェライトコアを取り付けてください。接続する機器によっては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）のクラスBを満たさないことがあります。

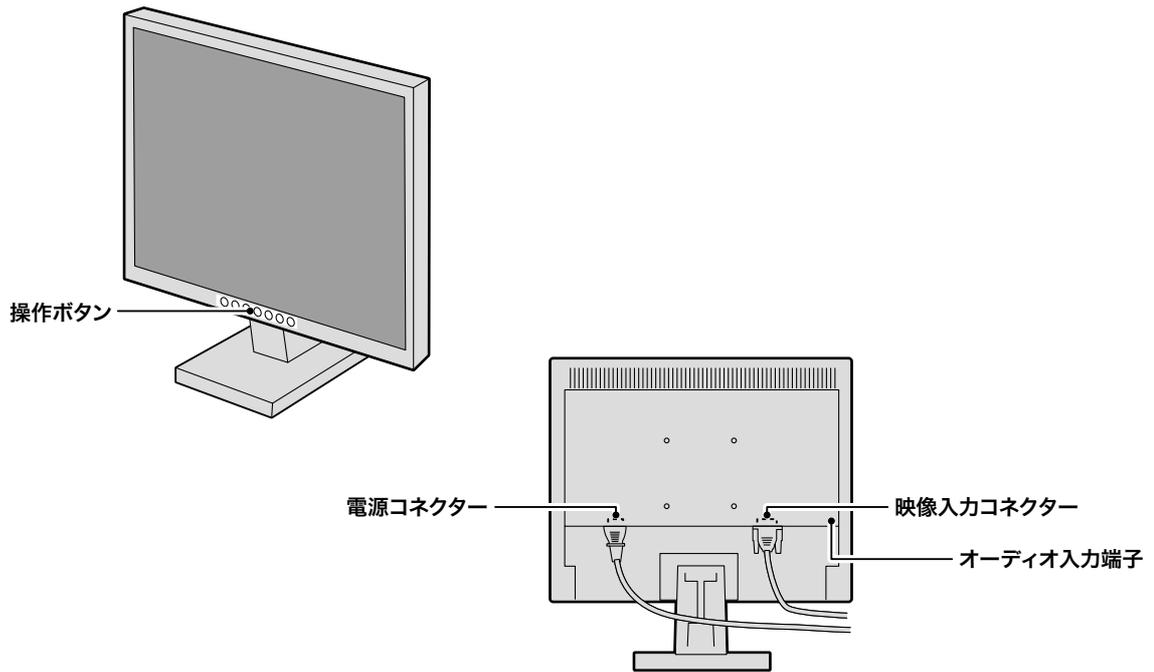
■ Print Server本体（背面）



注記

- ・ Print Server本体の保守は、弊社のカスタマーエンジニアが行います。万一、Print Server本体のカバーを開けて内部の部品などをカスタマイズした場合、弊社の保証範囲外になりますので、ご注意ください。
- ・ ネットワークポートは、Windowsのネットワーク設定でそれぞれ以下に対応します。
 - ネットワークポート1：[ネットワーク接続] の [イーサネット]
 - ネットワークポート2：[ネットワーク接続] の [イーサネット2]

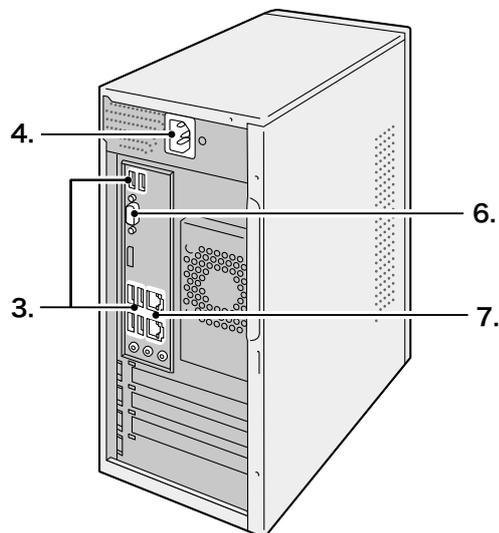
■ LCDモニター



 **補足** LCDモニターと、USBキーボード（マウスポインタ内蔵）はオプションです。

 **参照** LCDモニターの操作については、LCDモニターに付属のマニュアルを参照してください。

システムの接続



1. Print Server本体、およびLCDモニター（接続する場合）を設置する場所へ移動します。

 **参照** Print Serverの設置については、「設置時の注意」(P.8)を参照してください。

2. USBキーボードなど（接続する場合）も設置する場所へ移動します。

3. USBキーボードをPrint Server本体のUSBコネクタへ接続します。

4. Print Serverの電源コードをPrint Server本体背面の電源コネクタに接続し、電源プラグをコンセントに差し、アース線を接続します。
5. LCDモニターの電源コードをLCDモニター背面の電源コネクタに接続し、電源プラグをコンセントに差します。
6. LCDモニターとPrint Server本体を映像ケーブルで接続します。
一方の端をPrint Server本体背面の映像出力コネクタに接続し、もう一方をLCDモニター背面の映像入力コネクタに接続して、ケーブルが抜けないようにねじを締めます。
7. LANに接続するネットワーク用のケーブルをPrint Server本体背面のネットワークポートに接続します。
8. Print Serverを起動します。

 **参照** Print Serverの起動については、「Print Serverの起動」(P.17)を参照してください。

以上で、システムの接続は終了です。

電源オフ

Print Serverの移動などの作業は、電源をオフにした状態で行ってください。

1. Print Serverを停止します。

 **参照** Print Serverの停止については、「Print Serverの停止」(P.18)を参照してください。

2. Print Serverに接続されているケーブル類（電源コード、ネットワーク用ケーブル、映像ケーブル、USB）をすべて抜きます。

セットアップ時の障害対応

Print Serverのセットアップや接続のときに発生することがある主な障害について、対処方法を説明します。

状況	対処方法
Print Serverを設置したあと、電源スイッチを押しても起動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・Print Serverに電源コードが正しく接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認してください。 ・接続できるケーブルがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、起動することを確認してください。
Print Serverが起動しているようだが、モニターに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターに電源コードが接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認してください。 ・モニターケーブルの両端が正しく接続されていることを確認してください。 ・モニターの電源が入っている（前面のグリーンのランプが点灯している）ことを確認してください。グリーンのランプが点灯していない場合は、モニターの電源スイッチを入れてください。 ・接続できるモニター、およびケーブルがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、正常に表示されることを確認してください。
Print Serverは起動するが、キーボードが正しく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードが正しく接続されていることを確認してください。 ・接続できるキーボードがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、正常に動作することを確認してください。

Print Serverの起動と停止

Print Serverのソフトウェア（Fuji Xerox Print Server Service）は、Microsoft® Windows® 10 IoT Enterpriseで動作します。

Fuji Xerox Print Server Serviceは、Windowsを起動したときに自動で開始するように設定されているため、通常はWindowsが起動した時点でプリントできます。



補足

- ・ ServerManager を起動しなくても、Print Server を停止しない限り、クライアントコンピューターからのプリント、およびWebManagerなどは処理されます。
- ・ Print Server は「PC をスリープ状態にする」機能をサポートしていません。スリープするように設定すると、エラーが表示され、プリントできないことがあります。

■ 使用前の注意

- ・ Print Serverに、ほかのアプリケーションをインストールした場合の動作は保証していません。
- ・ Print Serverには、弊社製のオプション製品を装着できます。オプション製品については、弊社、または販売店にお問い合わせください。
- ・ Print Server本体に同梱されている、各種インストールメディアを紛失しないよう、注意してください。

Print Serverの起動

1. プリンターの電源を入れます。



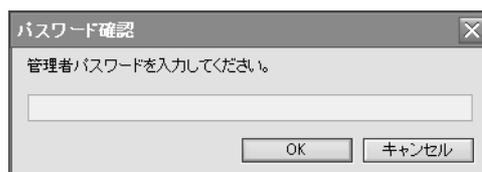
参照

プリンターの電源の入れ方については、プリンターに付属のマニュアルを参照してください。

2. Print ServerのLCDモニター、Print Server本体の順に電源を入れます。

Print Serverが起動され、Windowsに自動でサインインされます。

3. 購入後にはじめてPrint Serverを起動したときは、ServerManagerの起動前に、管理者用パスワードを入力する [パスワード設定] ダイアログボックスが表示されるので、パスワードを設定します。



[パスワード確認] ダイアログボックスが表示されたら、設定したパスワードを再度入力します。

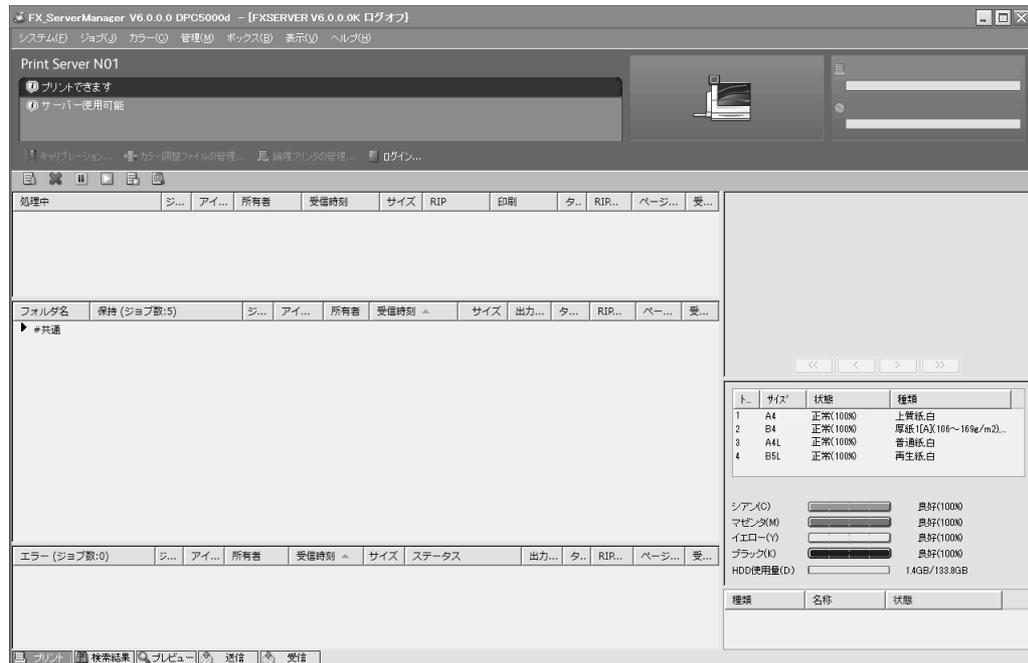


補足

- ・ このダイアログボックスがServerManagerウィンドウの後ろに隠れてしまうことがあります。この場合は、Windowsのタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックして、ウィンドウを切り替えてください。
- ・ モニター未接続時は、リモートデスクトップ接続でパスワードを設定してください。リモートデスクトップ接続については、「リモートデスクトップ接続」(P.19)を参照してください。

ServerManagerが起動されます。

パスワード設定後は、Print Serverを起動すると、続けてServerManagerも起動されます。



補足

- ・デフォルトでは、ログオフ状態で起動します。ログオフ状態でも、ジョブの参照とステータスの確認はできますが、ジョブの操作や設定をするには、ログインする必要があります。
- ・ログイン状態でも起動できます。
設定方法については、『ユーザーズガイド導入編』を参照してください。

Print Serverの停止

■ モニター接続時

Windowsの [スタート] →  [電源] → [シャットダウン] を選択します。

Fuji Xerox Print Server Serviceが停止され、Windowsがシャットダウンされます。



注記

Print Server正面の電源スイッチを押し続けて電源を切らないでください。
強制的に電源を切ると、トラブルの原因となります。

■ モニター未接続時

リモートデスクトップ接続時は、ServerManager に管理者モードでログインし、[システム] → [サーバー] → [シャットダウン] を選択します。

Print Serverが停止されます。



参照

リモートデスクトップ接続については、「リモートデスクトップ接続」(P.19) を参照してください。

リモートデスクトップ接続

モニターが接続されていないときは、クライアントコンピューターからリモートデスクトップ接続で Print Server を操作できます。

IPアドレスの確認

Print ServerのIPアドレスを確認します。

1. Print ServerのWindowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コマンドプロンプト] を選択します。
2. 「ipconfig」と入力し、〈Enter〉キーを押します。
「IP Address」にPrint ServerのIPアドレスが表示されます。
(***.***.***.***形式)

リモートデスクトップ接続

■ Macintoshクライアント

macOS 10.12で「Microsoft Remote Desktop」を設定する手順を例に説明します。



補足

OS X 10.9以降のOSで、「Microsoft Remote Desktop」を使用してリモートデスクトップ接続ができます。
「Microsoft Remote Desktop」は、Mac App Storeからダウンロードしてください。

1. Launchpadから [Microsoft Remote Desktop] アイコンをクリックします。
Microsoft Remote Desktopが起動されます。
2. [Microsoft Remote Desktop] ウィンドウで [New (+)] ボタンをクリックします。
[Edit Remote Desktops] ウィンドウが表示されます。
3. 以下の項目を設定してプロファイルを作成し、[Edit Remote Desktops] ウィンドウを閉じます。
 - ・ [User Name] に接続先の名前を入力します。
 - ・ [PC name] にPrint ServerのIPアドレスを入力します。
 - ・ [User name] および [Password] に、管理者権限のあるユーザー名およびパスワードを入力します。



補足

管理者権限のあるユーザー名は「PXServer」、パスワードは「n01_printserver」に設定されています。

4. [Microsoft Remote Desktop] ウィンドウで、作成したプロファイルを選択し、[Start (→)] ボタンをクリックします。

■ Windowsクライアント

Windows 10でリモートデスクトップ接続を設定する手順を例に説明します。

1. Windowsの [スタート] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] を選択します。
2. [コンピューター] にPrint ServerのIPアドレスを入力します。



3. [接続] をクリックします。
4. 管理者権限のあるユーザー名でログインします。



補足

管理者権限のあるユーザー名は「PXServer」、パスワードは「n01_printserver」に設定されています。

プリント操作

Print Serverを運用する前に必要なプリント操作を説明します。

スタートアップページのプリント

Print Serverを起動したあと、スタートアップページをプリントして、正しく印字されることを確認します。

1. ServerManagerの [システム] → [スタートアップページの印刷] を選択します。
2. [スタートアップページの印刷] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
3. スタートアップページを確認します。
オプション製品が装着されている場合は、スタートアップページのオプションの項目に表示されていることを確認します。

 **参照** スタートアップページの詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』を参照してください。

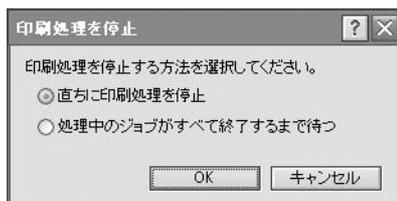
プリント処理の強制停止と再開

プリンター側のプリント処理を Print Server から停止したり、処理を再開したりできます。プリント処理は、強制的に停止する方法と、ジョブの処理が終了してから停止する方法があります。プリント処理の停止 / 再開は、メニューの選択によって切り替わります。

プリント処理を再開すると、通常のプリント処理が開始されます。

 **注記** この機能は、ServerManagerに管理者モードでログインしている場合にだけ使用できます。

1. ServerManagerの [システム] → [印刷処理を停止] を選択します。
2. プリント処理を停止する方法を選択し、[OK] をクリックします。



- 直ちに印刷処理を停止
処理中のジョブを含めて、すべてのプリント処理をすぐに停止します。
- 処理中のジョブがすべて終了するまで待つ
処理中のジョブのプリントが終了したあとに、プリント処理を停止します。

プリント処理を再開する場合は、[システム] → [印刷処理を再開] を選択します。

バージョンアップと再インストール

Print Serverのバージョンアップ

1. アプリケーションUSBメモリーをUSBコネクタに接続します。
2. Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [エクスプローラー] を選択し、[PC] → [Print Server N01 V6.0] → [Server] → [update] を選択します。
3. 「psn01_v6018.exe」を任意の場所に保存し、ファイルを解凍します。
4. 解凍されたフォルダー内の「fxreadme_psn01.txt」の「2. インストール方法」の指示に従って、インストールします。

 **補足** アップデート後のバージョンは「6.0.0.18」です。

Print Serverのソフトウェアの再インストール

Print Serverのソフトウェア（Fuji Xerox Print Server Service）が起動しないときは、再インストールをしてください。

1. 必要に応じて、クライアントコンピューター、またはメディアにデータをバックアップします。

 **補足** ・設定ファイルのバックアップと復帰については、『ユーザーズガイド 導入編』の該当箇所を参照してください。
・ボックス、フォントのバックアップと復帰については、『ユーザーズガイド 運用編』の該当箇所を参照してください。
2. アプリケーションUSBメモリーをUSBコネクタに接続します。
3. Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [エクスプローラー] を選択し、[PC] → [Print Server N01 V6.0] → [Server] → [Installer] を選択します。
4. [Setup.msi] アイコンをダブルクリックします。
5. [Fuji Xerox Print Server N01 の削除] を選択し、[完了] をクリックします。
Fuji Xerox Print Server Serviceのアンインストールが開始されます。
6. アンインストールが終了したら、[閉じる] をクリックします。
7. 「Setup.msi」をダブルクリックします。
8. 画面の指示に従い、[次へ] を4回クリックします。
Fuji Xerox Print Server Serviceのインストールが開始されます。
9. インストールが終了したら、[閉じる] をクリックします。
10. Print Serverを再起動します。

 **補足** 再起動後、必要に応じて、Print Serverの設定を行ってください。

主な仕様

製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ Print Server本体

項目	Print Server
形式	外付け
CPU	インテル Core [®] i3-6100プロセッサ (3.7 GHz)
記憶装置	1 TB、DVD Multiドライブ
メモリー容量	8 GB
サーバー OS	Windows 10 IoT Enterprise
搭載フォント (PostScript)	・ 日本語2書体 平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3 ・ 欧文136書体 Adobe [®] 標準136書体
ページ記述言語	Adobe PostScript 3 [™]
プリントデータフォーマット	PS、PDF [®] 、EPS、TIFF、JPEG
プリンタードライバー対応OS	『ユーザーズガイド 導入編』を参照してください。また、最新のOSについては、公式サイトダウンロードサービスから、ご使用の機種種のページをご覧ください。
インターフェイス	Ethernet : 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2 USB : USB 3.0 × 6ポート (正面× 2、背面× 4)、USB 2.0 × 2ポート (背面× 2)
対応プロトコル	TCP/IP (lpd/FTP)、AppleTalk、SMB、Bonjour
電源	AC100 V±10%、2.5 A、50/60 Hz共用
最大消費電力	0.2 kW
大きさ	幅135×奥行300×高さ315 mm
質量	約6.8 kg

■ LCDモニター



補足 LCDモニターはオプションです。

項目	仕様
種類	43.2 cm (17型) TFTカラー液晶モニター (1,280×1,024 dpi)
大きさ	幅367 × 奥行188 × 高さ384 mm
質量	約4.7 kg
電源	AC100V±10%、0.9 A、50/60 Hz共用
最大消費電力	38 W以下

商品のお問い合わせ先について

この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックス プリンターサポートデスクにお問い合わせください。

富士ゼロックス
フリーダイヤル: **0120-66-2209** FAX: 0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。

TEL：0120-88-8641 FAX：0120-22-6993

受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械 No.」、もしくは商品の背面、または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

ご意見やご相談の受付窓口：お客様相談センター

電話：0120-27-4100 (通話料無料)

FAX：0120-05-5035 (通話料無料)

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

公式サイト：<http://www.fujixerox.co.jp/>

商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

Print Server N01 ユーザーズガイド セットアップ編

著作者 — 富士ゼロックス株式会社

発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2018年8月 第1版

970E 31960

DE4842J1-3